

厚生労働省
東京労働局発表
平成24年3月2日(金)



担 当	職業安定部職業安定課 課長 長崎 誠
	地方労働市場情報官 小林 博志
	電話 03-3512-1654 (直通)
	F A X 03-3512-1565

都内学卒者の初任賃金

(平成24年3月新規学校卒業者の求人初任給調査結果)

都内各公共職業安定所が受理した平成24年3月中学校・高等学校・短大(高専を含む)・大学(大学院)・専修学校等卒業者に対する学卒求人の賃金について調査し、その結果を次のとおり取りまとめた。

I 調査概要

1. 調査方法

都内各公共職業安定所が受理した平成24年3月中学校・高等学校・短大(高専を含む)・大学(大学院)・専修学校等卒業者に対する「中卒用求人票」・「高卒用求人票」及び「大卒等求人票」を用い、求人数及び求人初任給を調査した。

2. 調査期間

中学・高校……………平成23年6月20日～8月31日
短大・大学・専修等……………平成23年3月1日～9月9日

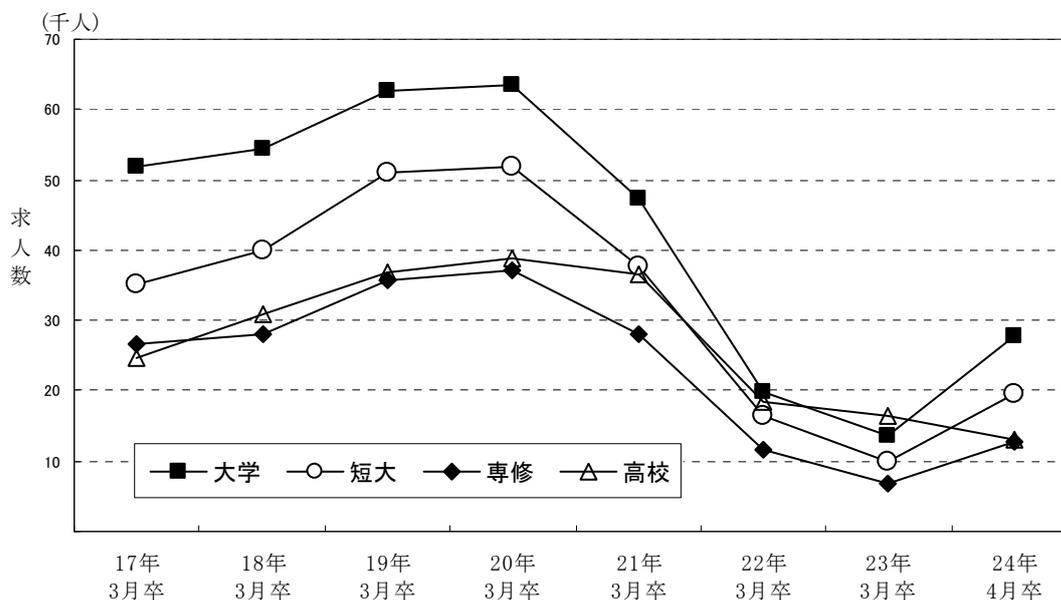
3. 調査項目

各種求人票に記載された「定期的に支払われる賃金」及び「求人数」を学歴別、産業別、職業別、事業所規模別に調査した。

4. 調査対象数

	大 学		短 大		専 修		高 校		中 学	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
求人件数	5,664	119.0	3,967	122.9	2,668	120.3	3,374	▲ 13.7	16	▲ 23.8
求人数	27,680	102.1	19,636	98.3	12,839	90.0	13,057	▲ 20.8	79	▲ 15.1

図1 学歴別求人数の推移



II 調査結果

各種求人票の求人初任給は以下のとおりとなった。

なお、中学については求人件数が16件と少ないため、調査結果は割愛した。

1. 学歴別求人初任給

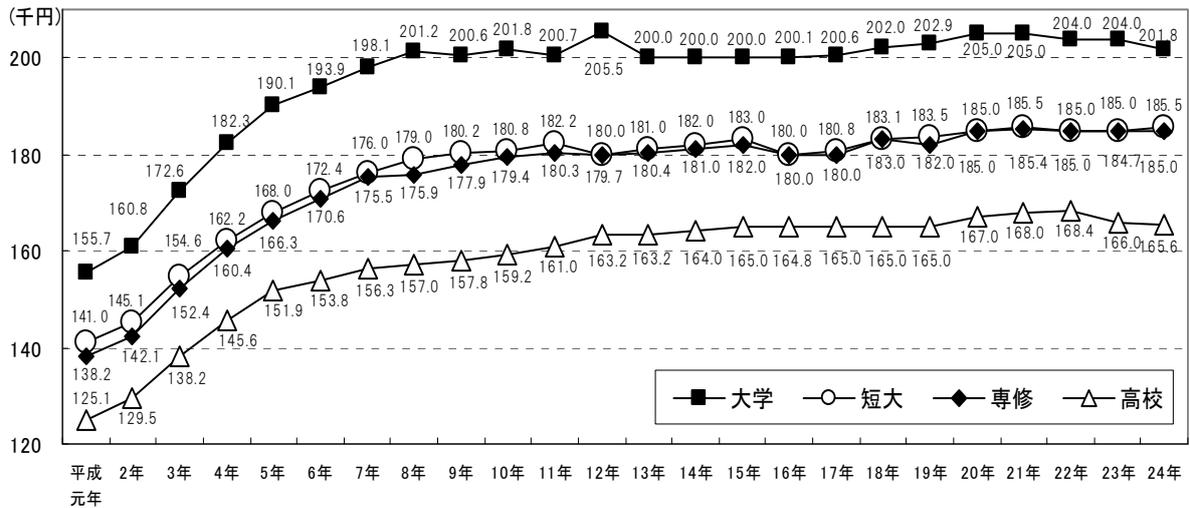
前年と比較すると、大学、高校では減少し(大学 1.1%、高校 0.2%減少)、短大、専修では増加した(短大 0.3%、専修 0.2%増加)。

表1 学歴別求人初任給

単位：千円、%

	24年 3月卒		23年 3月卒	22年 3月卒
		前年比		
大学	201.8	▲ 1.1%	204.0	204.0
短大	185.5	0.3%	185.0	185.0
専修	185.0	0.2%	184.7	185.0
高校	165.6	▲ 0.2%	166.0	168.4

図2 学歴別求人初任給の推移



2. 産業別求人初任給

最も高い産業別求人初任給は、大学では[不動産業，物品賃貸業]の210,000円(前年比同額)、短大では[金融業，保険業]、[不動産業，物品賃貸業]の200,000円(同11.1%増加、2.6%増加)、専修では[不動産業，物品賃貸業]の210,000円(同7.7%増加)、高校では[建設業]の175,000円(同1.6%増加)となった。

最も低い産業別求人初任給は、大学では[生活関連サービス業，娯楽業]の180,000円(同5.3%減少)、短大では[生活関連サービス業，娯楽業]の177,000円(同1.7%減少)、専修では[生活関連サービス業，娯楽業]の179,000円(同0.6%減少)、高校では[教育，学習支援業]の150,000円(同2.5%減少)となった。

表2 産業別・学歴別求人初任給

単位：千円、%

区 分	大 学		短 大		専 修		高 校	
		前年比		前年比		前年比		前年比
計	201.8	▲1.1%	185.5	0.3%	185.0	0.2%	165.6	▲0.2%
建設業	205.3	▲0.6%	194.0	▲0.1%	190.0	0.0%	175.0	1.6%
製造業	205.5	0.2%	180.4	▲0.9%	180.0	▲0.1%	164.6	▲0.2%
情報通信業	205.0	▲0.9%	187.9	0.5%	185.0	0.0%	168.6	▲0.8%
運輸業，郵便業	200.0	0.0%	182.0	1.6%	183.7	3.7%	165.0	0.0%
卸売業，小売業	200.0	▲1.5%	185.0	0.0%	183.7	▲0.7%	170.0	0.0%
金融業，保険業	205.8	▲0.1%	200.0	11.1%	200.0	8.1%	160.0	0.3%
不動産業，物品賃貸業	210.0	0.0%	200.0	2.6%	210.0	7.7%	165.0	0.0%
学術研究，専門・技術サービス業	205.0	▲0.6%	190.0	1.6%	190.0	2.7%	165.0	0.1%
宿泊業，飲食サービス業	205.0	1.5%	190.0	▲2.6%	190.0	▲2.6%	172.3	1.4%
生活関連サービス業，娯楽業	180.0	▲5.3%	177.0	▲1.7%	179.0	▲0.6%	155.0	2.0%
教育，学習支援業	200.0	0.0%	198.0	3.7%	190.0	▲1.3%	150.0	▲2.5%
医療，福祉	194.8	▲0.3%	185.6	1.4%	185.0	0.8%	170.0	1.8%
サービス業(他に分類されないもの)	200.0	2.0%	180.4	0.2%	180.0	0.0%	167.0	1.2%
その他	192.0	2.9%	180.0	4.7%	190.0	10.0%	165.0	0.0%

3. 職業別求人初任給

最も高い職業別求人初任給は、大学では[専門・技術]の205,000円(前年比同額)、短大では[販売]の190,000円(同1.1%増加)、専修では[販売]の190,000円(同2.2%増加)、高校では[専門・技術]の170,000円(同同額)となった。

最も低い職業別求人初任給は、大学では[事務]の200,000円(同同額)、短大では[事務]の180,000円(同同額)、専修では[事務]の180,000円(同同額)、高校では[事務]の163,000円(同同額)となった(その他の職業を除く)。

表3 職業別・学歴別求人初任給

単位：千円、%

区 分	大 学		短 大		専 修		高 校	
		前年比		前年比		前年比		前年比
計	201.8	▲1.1%	185.5	0.3%	185.0	0.2%	165.6	▲0.2%
専 門 ・ 技 術	205.0	0.0%	187.0	1.1%	185.0	0.0%	170.0	0.0%
事 務	200.0	0.0%	180.0	0.0%	180.0	0.0%	163.0	0.0%
販 売	204.0	▲1.1%	190.0	1.1%	190.0	2.2%	169.0	▲0.6%
技 能							166.8	▲0.7%
そ の 他	200.0	▲1.0%	180.0	▲2.7%	180.0	▲0.9%	161.0	▲0.6%

※職業分類[技能]は高校のみ。

4. 事業所規模別求人初任給

最も高い事業所規模別求人初任給は、大学では[30～99人]、[500～999人]の205,000円(前年比同額、同1.0%増加)、短大では[29人以下]、[30～99人]、[うち30～49人]の190,000円(同1.1%増加、同2.2%増加、同2.7%増加)、専修では[うち30～49人]の190,000円(同4.7%増加)、高校では[うち30～49人]の168,600円(同0.8%増加)となった。

最も低い事業所規模別求人初任給は、大学では[29人以下]、[1,000人以上]の200,000円(同1.7%減少、同0.2%減少)、短大では[1,000人以上]の180,000円(同0.1%減少)、専修では[1,000人以上]の180,000円(同0.1%減少)、高校では[1,000人以上]の163,000円(同0.2%減少)となった。

表4 事業所規模別・学歴別求人初任給

単位：千円、%

区 分	大 学		短 大		専 修		高 校	
		前年比		前年比		前年比		前年比
計	201.8	▲1.1%	185.5	0.3%	185.0	0.2%	165.6	▲0.2%
29 人 以 下	200.0	▲1.7%	190.0	1.1%	185.0	0.0%	168.0	▲0.8%
30 ～ 99 人	205.0	0.0%	190.0	2.2%	189.0	2.2%	166.6	0.4%
うち 30～49 人	202.7	▲0.6%	190.0	2.7%	190.0	4.7%	168.6	0.8%
100 ～ 499 人	204.1	0.2%	184.0	▲0.5%	184.0	0.0%	164.9	▲0.1%
うち 100～299 人	204.0	0.0%	186.0	0.5%	185.0	0.0%	164.5	▲0.3%
500 ～ 999 人	205.0	1.0%	182.9	0.1%	181.3	▲0.8%	165.1	0.0%
1,000 人 以 上	200.0	▲0.2%	180.0	▲0.1%	180.0	▲0.1%	163.0	▲0.2%

5. 賃金階級別求人分布状況

賃金階級別の求人分布状況は、大学では19～21万円台の全体に占める割合が高くなり、短大、専修では17～19万円台、高校では15～17万円台の全体に占める割合が高くなった。

前年と比較すると、最も上昇した賃金階級区分は、大学では[19万円台]の14.3%（前年比4.0ポイント上昇）、短大では[18万円台]の26.5%（同6.9ポイント上昇）、専修では[18万円台]の28.9%（同9.2ポイント上昇）、高校では[15万円台]の20.8%（同2.8ポイント上昇）となった。

また、最も低下した賃金階級区分は、大学では[23万円以上]の14.1%（同5.4ポイント低下）、短大では[16万円台]の7.1%、[21万円台]の4.8%（同2.7ポイント低下）、専修では[21万円台]の3.7%（同4.7ポイント低下）、高校では[17万円台]の17.3%（同2.5ポイント低下）となった。

表5 賃金階級別・学歴別求人分布状況

区分	大学		短大		専修		高校	
	前年比							
14万円未満	0.1%	▲0.2P	0.1%	▲0.3P	0.2%	▲0.3P	2.8%	0.1P
14万円台	0.2%	0.0P	0.3%	0.0P	1.1%	0.7P	5.4%	▲0.6P
15万円台	1.9%	1.5P	3.9%	1.4P	5.0%	0.5P	20.8%	2.8P
16万円台	4.7%	1.5P	7.1%	▲2.7P	7.5%	▲0.9P	31.0%	▲1.7P
17万円台	5.2%	▲0.5P	15.8%	▲1.5P	16.3%	▲4.4P	17.3%	▲2.5P
18万円台	10.6%	2.5P	26.5%	6.9P	28.9%	9.2P	12.2%	2.6P
19万円台	14.3%	4.0P	16.3%	▲1.2P	12.4%	▲2.7P	5.1%	1.1P
20万円台	24.9%	▲0.5P	13.8%	▲0.2P	13.2%	0.0P	3.0%	▲0.6P
21万円台	13.9%	▲3.8P	4.8%	▲2.7P	3.7%	▲4.7P	1.1%	▲0.3P
22万円台	10.1%	0.7P	4.4%	2.2P	4.1%	2.3P	0.7%	▲0.8P
23万円以上	14.1%	▲5.4P	6.9%	▲2.1P	7.7%	0.5P	0.8%	0.1P

前年比：ポイント

付表1：[年別・学歴別求人初任給（四分位数）](#)

付表2：[年別・学歴別求人初任給（前年比）](#)

付表3：[年別・学歴別求人初任給（四分位偏差）](#)

付表4：[産業別・規模別・職業別求人初任給（中位数）【大学】](#)

付表5：[産業別・規模別・職業別求人初任給（中位数）【短大】](#)

付表6：[産業別・規模別・職業別求人初任給（中位数）【専修】](#)

付表7：[産業別・規模別・職業別求人初任給（中位数）【高校】](#)

付表8：[産業別・規模別・職業別求人数【大学・短大】](#)

付表9：[産業別・規模別・職業別求人数【専修・高校】](#)